

低炭素型の製品・サービス等の賢い選択を促す「COOL CHOICE」をより効果的に展開するため、環境大臣がチーム長となり、経済界、地方公共団体、消費者団体、メディア、NPO、関係省庁等をメンバーとした「COOL CHOICE推進チーム」を設置（平成28年5月31日）し、第1回会合を開催した（同年6月20日）。

（1）チーム員（五十音順、敬称略）

- ・丸川珠代 環境大臣
 - ・石渡美奈 ホッピービバレッジ株式会社 代表取締役社長
 - ・小林治彦 日本商工会議所 産業政策第二部 部長
 - ・齋藤弘憲 経済同友会 企画部長
 - ・崎田裕子 ジャーナリスト・環境カウンセラー
 - ・高須光聖 放送作家
 - ・田口邦子 株式会社そごう・西武 執行役員 CSR推進室シニアオフィサー
 - ・武田史子 株式会社ベネッセコーポレーション「サンキュ！」編集長
 - ・土屋敏男 日テレラボ ゼネラル・プロデューサー
 - ・南部美智代 日本労働組合総連合会 副事務局長
 - ・根本勝則 日本経済団体連合会 常務理事
 - ・林文子 横浜市長
 - ・百瀬則子 ユニー株式会社 執行役員 業務サポート本部 環境・社会貢献部長
 - ・吉田浩一郎 新経済連盟理事 / 株式会社クラウドワークス代表取締役社長CEO
- オブザーバー：経済産業省・国土交通省



以上14名

（2）今後のスケジュール

- ・チームの下に作業グループを順次設置予定。また、第2回推進チームを年度内に開催予定。

第1回COOL CHOICE推進チームにおける主な議論

平成28年6月20日に開催された「第1回COOL CHOICE推進チーム」においては、幅広い立場のチーム員の方々から、普及啓発を抜本的に強化するための基本的な方針や戦略について、斬新なアイデアやご助言をいただいた。

伝え方、認知・行動の共有の仕方、これらのポイント

- ・COOL CHOICEの行動例の象徴を示す。
- ・温暖化について「おもしろく」、「カッコよく」伝えるコンテンツづくりが重要。自分事として、「おもしろく」、「カッコよく」出来るかが鍵。

行動につなげるためのアプローチの仕方・ポイント

- ・買い替えのタイミングでCOOLな選択をしてもらう基礎を整備する。
- ・結婚等の人生の節目で、「COOL CHOICEライフプラン」を設計する。
- ・行動につなげる3つの方法、
危機感があって自分の暮らしの得になることならできる、
普段から考える、行えるCOOL CHOICEの選択肢を用意する、
エコ育をこどもの頃から

チーム員が主体となって、伝える・アプローチする・共有するルート

- ・経営トップの意識を変えて従業員にも広げていく。
- ・スーパーで子供向け教育をやれば、そこから家族にも波及し、大きな流れになる。



今後の予定（作業グループについて）

1．設置するテーマ例

- **省エネ家電、住宅の省エネ化、エコカー、eコマース・低炭素物流、ライフスタイル**

省エネ家電：様々な消費者の異なるニーズも踏まえた、効果的な買換え促進コンテンツを検討・開発

住宅の省エネ化：快適性・健康面など多角的なメリットも訴求しつつ、効果的な普及啓発の方策を検討・開発

エコカー：エコカーの選択、エコカーの買換の普及啓発

eコマース・低炭素物流：eコマースにおける省エネ家電等の買換え促進や、不要な再配達を削減できるような宅配便の受け取り方法の選択の普及啓発

ライフスタイル：クールビズ・ウォームビズ、エコドライブ等の認知率・実施率の向上、カーシェアリングや自転車シェアリング、シェアハウス等のシェアリングエコノミーなどの普及啓発

- **作業グループのメンバーは、関係する経済界、自治体、関係省庁等で構成**

2．スケジュール

- **第1回推進チーム開催後、順次設置していく。**

3．成果

- **今年度実施できるものについては今年度中に具体化。**
- **また、来年度予算要求にも活用する。**

地球温暖化防止のための国民運動の推進体制の強化（参考1）

第34回地球温暖化対策推進本部(平成28年3月15日)で以下について了承

COOL CHOICE推進チーム

環境大臣をチーム長とし、経済界、地方公共団体、消費者団体、メディア、NPO、関係省庁等をメンバーとする効果的な普及啓発のための推進チームを組織し、「COOL CHOICE」を旗印とした推進体制を構築
普及啓発の進め方や基本的な方針、実施計画、その他国民の消費生活やライフスタイル転換のための取組について提言・助言
推進チームの下に分野別の作業グループを設置し、機動的に活動

関係省庁連絡調整チーム

地球温暖化対策のための国民運動に係る政府の連携強化を図るため、地球温暖化対策推進本部幹事会の下に関係省庁連絡調整チームを設置

進捗管理

環境省は、地球温暖化対策計画に沿って、普及啓発の実施計画を策定。同計画では、適切な目標・指標を設定し、毎年進捗状況の評価を行い、PDCAを徹底
環境省において外部専門家による点検・評価を実施し、中央環境審議会においてその評価結果を審議。この結果を地球温暖化対策計画の点検・評価に反映

国民運動実施計画案の概要（参考2）

